

経営比較分析表（平成30年度決算）

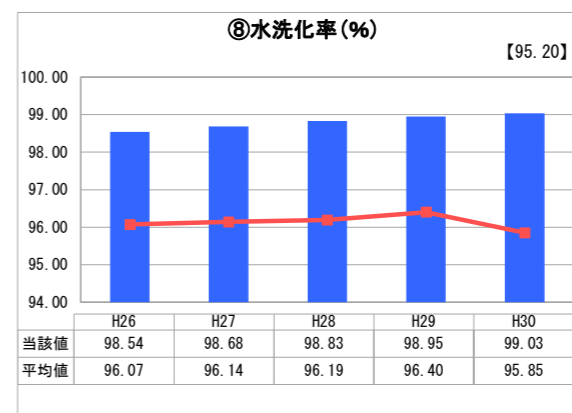
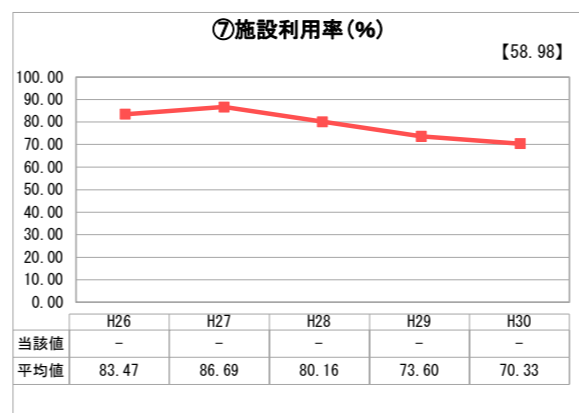
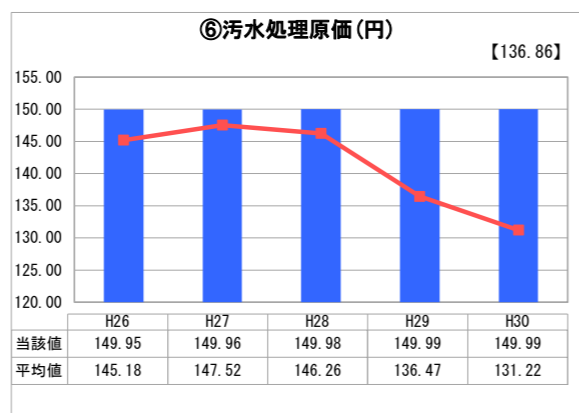
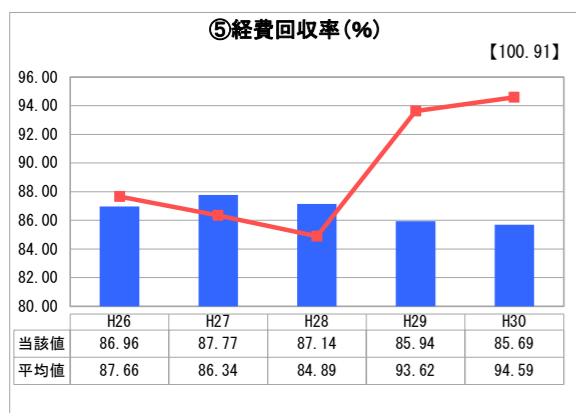
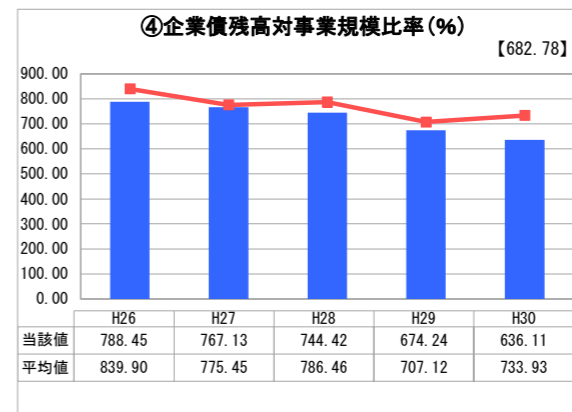
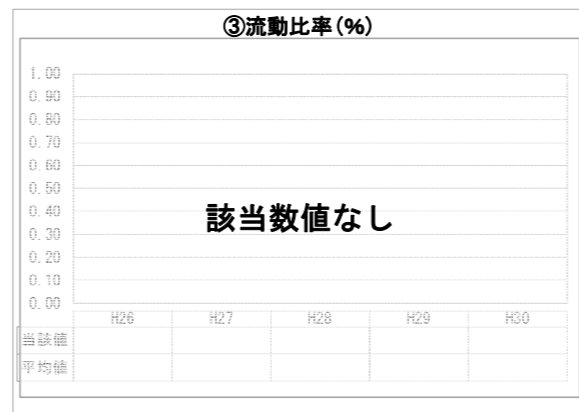
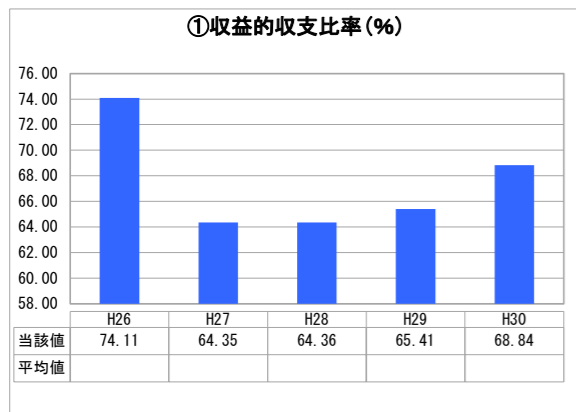
京都府 向日市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	公共下水道	Bb1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	99.99	80.49	2,224

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,563	7.72	7,456.35
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
57,485	6.52	8,816.72

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

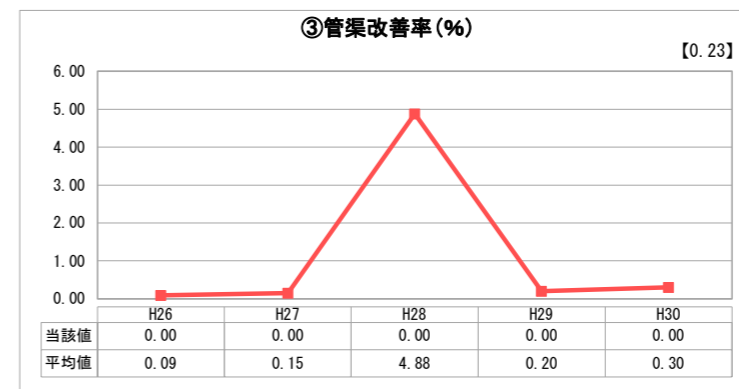
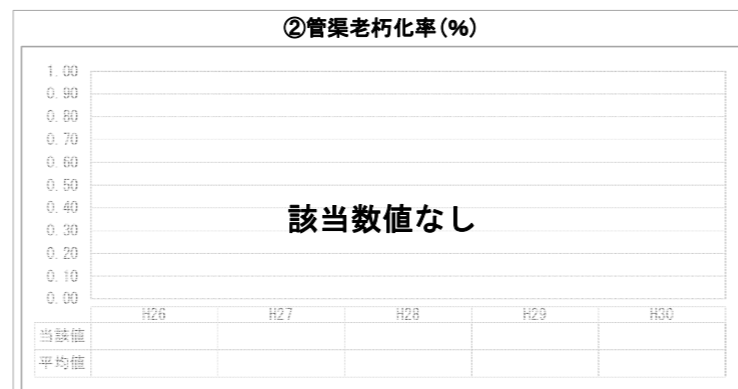
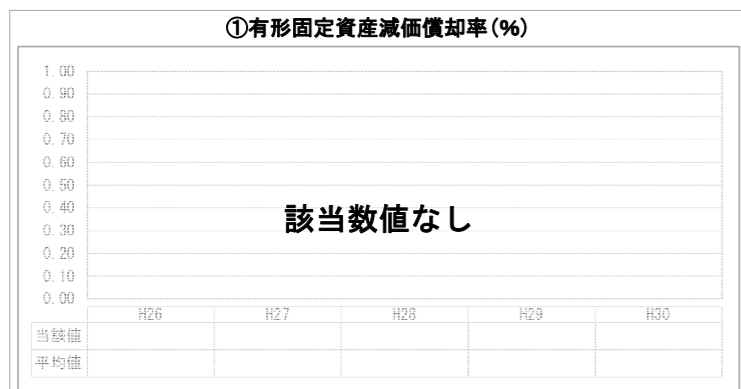
1. 経営の健全性・効率性について

- ①収益的収支比率
100%を下回っており、使用料収入で賄いきれない経費を、一般会計からの繰入金に依存しています。今後、一般会計繰入金の適正化が必要です。
- ④企業債残高対事業規模比率
汚水整備事業が平成12年に完了していることから、工事費の財源である企業債の新規借入を行うことが少ないため、年々低下しています。
- ⑤経費回収率
100%を下回っており、汚水処理費が使用料収入以外の収入によって賄われています。適正な経費回収のため、経営管理の向上が必要です。
- ⑥汚水処理原価
汚水資本費が高くなる分流式下水道であることから、類似団体と比べて高くなっています。
- ⑦施設利用率
市全域が桂川右岸流域下水道に含まれているため、終末処理場を所有していません。
- ⑧水洗化率
早くから水洗化を進め、汚水事業整備が平成12年に完了したことから、類似団体と比べて高くなっています。

2. 老朽化の状況について

- ③管渠改善率
昭和49年から整備に着手したため、耐用年数50年に達している老朽管はありません。現在、予防保全型の維持管理を行い、下水道管渠の長寿命化に取り組んでいます。

2. 老朽化の状況



全体総括

歳出の大部分を占める企業債償還金が減少傾向にあります。使用料で歳出を賄えない状況は今後も続く見込みです。
本市では、平成29年度に「向日市上下水道事業経営戦略」を策定し、中長期的な経営改善に向けた指針を定めたほか、令和2年度からは公営企業会計への移行を予定しています。今後も、安定的な下水道事業運営を行う上で、適切な経営管理に努めます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。